

## 利根運河周辺エリア紹介

自然を満喫できる場所がたくさんあります!

千葉県・埼玉県・茨城県の各市町を含む、利根運河を中心としたエリアは、一級河川の利根川・江戸川・利根運河をはじめ、大小の河川や湖沼、水田等の水辺環境が広がる自然豊かな地域です。都心部からのアクセスもよく、野鳥観察や自然・農業体験ができる環境や施設、歴史を感じられる史跡や資料館などがあります。

野鳥が観察できるスポットもいくつかあり、運がよければ、コウノトリやオオタカなどが飛ぶ姿がみられるかも。ぜひ、遊びに来てください。



① 運河水辺公園 運河駅下車すぐ。利根運河について学べる「利根運河交流館」もすぐそばです(流山市東深井)



② こうのとりの里 コウノトリ飼育施設。運がよければ周辺を飛ぶコウノトリがみられることもあります(野田市三ツ塚)



③ あけぼの山農業公園 風車と四季の花々がみどころ。農業を元気にする活動も実施されています(柏市布施)



④ 我孫子市鳥の博物館 日本唯一の鳥専門の博物館。目の前の手賀沼で野鳥観察も楽しめます(我孫子市高野山)



⑧ ミュージアムパーク茨城県自然博物館 マンモスの化石がお出迎え。展示は宇宙の進化から身近な自然までボリュームいっぱい(坂東市大崎)



⑤ 小堀の渡し 現在ではめずらしい渡船。大正時代から受け継がれ、現在も取手市で運航されています(取手市小堀)



⑥ 守谷野鳥のみち 林間の「守谷野鳥の森散策路」と湿地草原「鳥のみち」を含む市民手づくりの約4kmの歩道(守谷市本郷)



⑦ 普生沼 越冬に訪れるコハクチショウやカモ類をはじめ、さまざまな水鳥が観察できます(坂東市・常総市)



⑨ 千葉県立関宿城博物館 利根川・江戸川の河川改修や水運、川と関わる歴史・産業等が学べます(野田市関宿三軒家)



⑩ なますモニュメント ナマズ養殖も行われる「なますの里よしかわ」。吉川駅前では金色のナマズがお出迎え(吉川市木壳)

⑪ 二郷半領用水緑道 サクラやツツジが美しい三郷放水路以南16kmの道。新日本歩く道紀行「水辺の道100選」認定(三郷市栄)

⑫ 地底探検ミュージアム龍Q館 洪水から人々を守る首都圏外郭放水路について学べる博物館。地下見学は別途申込制(春日部市上金崎)



⑬ 千葉県立関宿城博物館 利根川・江戸川の河川改修や水運、川と関わる歴史・産業等が学べます(野田市関宿三軒家)

※ 各施設等の運営状況(休業日・運営時間・料金・人数制限・駐車場等)はそれぞれの公式ホームページなどで調べてからお出かけください。2021年3月現在、感染症拡散予防対策等により、運営日・運営時間の変更、立ち入りの制限、また閉鎖される場合も想定されます。また、コウノトリなど野生生物は時期やその他の状況によりみられないこともあります。  
※ 写真提供(50音順):取手市、守谷市、三郷市、ミュージアムパーク茨城県自然博物館

生きものがすみやすい場所は、人も、きっと、暮らしやすい。

エコロジカル・ネットワーク形成の推進による  
利根運河周辺エリアにおける  
多様な生物と共生する地域づくり

# 取り組みレポート 2020

(第1期 2016~2020年 取り組み総括レポート)



# 利根運河周辺エリアにおけるコウノトリの舞う地域づくりの取り組み

## ～これまでとこれから～

「利根運河」は、江戸川と利根川を結ぶ船の道として、明治23年に開削された人工河川です。運河としての役割を終え、現在は、歴史的な産業遺産であるとともに、さまざまな水辺生物の生息・生育場や人びとの憩いの場となっています。

千葉県・埼玉県・茨城県内の各市町を含む利根運河を中心としたエリアは、河川・湖沼・水田等の水辺環境が広がる自然豊かな地域です。

この利根運河周辺エリアにおいて、多様な地域関係者が連携・協力して水辺環境の保全・再生を図り、エコロジカル・ネットワークの形成を推進するとともに、生物多様性の向上を地域振興・経済活性化へつなげ、「多様な生物と共生する魅力的な地域づくり」を実現することを目指し、平成26年(2014年)に「コウノトリの舞う地域づくり連絡協議会(江戸川・利根川・利根運河地域)」を設立しました。

本資料では、2020年の節目の年にあたって、これまでの取り組みを振り返るとともに、今後の展望をとりまとめました。



### 取り組みテーマ① 多様な生物がすむ定着地づくり

#### ●水田の動物量調査の手引きの公開

◎田んぼの動物の豊かさとともに、コウノトリ採餌環境ポテンシャルを調べることのできる調査手法をとりまとめました。

◎専門家の監修のもと、地域関係者と協働(調査水田の使用許可、モニター調査への参加等)で作成し、一般公開しています。



### 取り組みテーマ② 多様な生物を育む人・地域づくり

#### ●自然豊かな地域づくりの広報

◎取り組み広報用資料(ポスターや学習教材など)を作成し、地域関係者と連携し、エリア内の施設や行事で展示・配布しました。

◎また、地域の魅力PRのため、モニターツアへの参加・協力なども行いました。

#### ●情報の発信・共有

◎連絡協議会では、地域関係者の取り組み紹介や、取り組み支援(助成制度等)に関する情報提供などを行いました。



◎主な成果 豊かな自然を活かした行事開催等の取り組みが地域関係者により各所で推進されるなか、連絡協議会では、取り組みの広報によって、取り組みそのものや、生きものの豊かなエリアであることについて、認知度の向上を図ることができました。

►►これから 対象エリアや対象者を広げながら、取り組みの広報を継続するとともに、今後、取り組みの成果を地域振興(観光・商業)につなげる工夫についても検討していきます。

## エリア内の各地域における取り組み(事例)

### ～それぞれの活動がエリア内のエコロジカル・ネットワーク形成を推進しています～

地域のエコロジカル・ネットワークは、各拠点で実施される取り組みがつながり・影響あって形成されています。利根運河周辺エリアでは、研究者・民間団体・自治体等の地域関係者によって、環境の保全・再生等に関するさまざまな活動が進められています。

#### ●コウノトリをシンボルとした自然再生(野田市)

江戸川地区の谷津田において、耕作放棄地の一部を整備(復田やビオトープ化等)し、自然環境に配慮した水稻生産を行い、地域の体験学習の場として活用しながら、次世代に受け継ぐ取り組みを進めています。

#### ●市民連携による生物多様性モニタリング(流山市)

利根運河や周辺谷津を含む市内数か所において、市民連携による生物調査を継続して実施しています。また、生物多様性シンポジウムを開催するなど、市民の自然学習の場づくりも進めています。

#### ●湿地環境に配慮した河道掘削(江戸川河川事務所)

環境に配慮した治水事業が進められています。江戸川では、河道掘削時に湿地環境を創出し、さまざまな水辺生物(ニホンアカガエルやカワセミ等)を確認しました。

市民農園における営農体験(野田市江川地区) ニホンアカガエルの調査(流山市生物多様性モニタリング) 大青田地区の谷津景観(柏市谷津保全指針対象地区)



#### ●自然観察会(野鳥や野草などの開催)(各市民団体)

利根運河や周辺谷津など、エリア内各所で野鳥や野草などの自然観察会が開催されています。また、地域の歴史に関する講演会など、さまざまなテーマの学習機会が、市民の手によって、地域に数多く提供されています。

### 取り組みテーマ③ コウノトリの舞うたねづくり

#### ●コウノトリの飼育・放鳥(野田市の取り組み)

◎野田市では、専門家等と協力しながら、コウノトリ野生復帰の取り組みを進めています。

◎平成27年から継続して飼育個体の放鳥を行っており、近年、関東エリア内に放鳥個体を含めた複数のコウノトリが飛来(右参照:渡良瀬遊水地では野外繁殖)するようになりました。

►►これから 今後、利根運河周辺エリアにコウノトリが増え、定着する可能性も想定し、必要な対策(エリア内で共有すべき留意点等の整理・配信などを検討していきます。



渡良瀬遊水地で子育て中のコウノトリ(2020.7.24)

### 取り組みのシンボル(大型鳥類)

エリア内では野田市放鳥個体を含めたコウノトリの飛来、また、オオタカやサシバの営巣、コハクチョウの越冬などが多数確認されています。

これら食物連鎖の頂点にある大型鳥類を指標とし、エリア内にそれらを育む多様な生物がすみ、そこから受ける生態系サービスを広く地域関係者と共有できることを目指しています。

指標種であるコウノトリは、2020年、渡良瀬遊水地(栃木県小山市)において、関東では野生絶滅以来初記録となる野外繁殖が確認されました。

## コウノトリの舞う地域づくり連絡協議会の組織

### ～広域連携による関東地域における取り組みの推進～

かつてコウノトリの重要な生息場であった関東地域において、コウノトリ・トキを指標とし、広域連携による水と緑のネットワーク形成によって、にぎわいのある地域づくりを推進するべく、平成25年に「関東エコロジカル・ネットワーク推進協議会」が設立され、関東各地(渡良瀬遊水地や荒川上流など)でエリア協議会が設立されています。

本連絡協議会は、このうち利根運河周辺エリアの取り組み推進を担い、市民・研究者・行政機関等の地域関係者の参加のもと、エコロジカル・ネットワーク形成に関連する情報の共有・発信、協働・連携促進を図っています。

■組織: コウノトリの舞う地域づくり連絡協議会(江戸川・利根川・利根運河地域)

■設立: 平成26年度(平成27年1月)

■構成(2020年12月時点)

【学識者(氏名50音順)】

- 埼玉大学名誉教授: 清枝 隆
- 東邦大学理学部 教授: 長谷川 雅美[委員長]
- 公益財団法人日本鳥類保護連盟 評議員: 葉山 嘉一
- 【市民団体(団体名50音順)】
- 江戸川の自然環境を考える会
- かしわ環境ステーション
- NPOさどやま
- 東葛自然と文化研究所
- 野田自然保护連合会

【行政機関】

- 野田市 ●柏市 ●流山市
- 千葉県 河川環境課、東葛飾土木事務所、柏土木事務所
- 千葉県 農地・農村振興課、自然保護課
- 農林水産省 関東農政局 農村環境課
- 国土交通省 関東地方整備局 河川環境課、利根川上流河川事務所、江戸川河川事務所
- 【オザイバー】
- 我孫子市、常総市、坂東市、守谷市、取手市、吉川市、三郷市、松伏町

